

今国会、議員立法で再審法改正を



市民の手カラで、 掘げよう再審の扉

死刑囚として半世紀も獄中に閉じ込められ、冤罪とたたかい続けた袴田巖さん。事件から58年、2024年に無罪が確定しました。なぜ、こんなに時間がかかるのか。再審制度に欠陥があるからです。検察が無実の証拠を平気で隠す、再審を申し立てても審理されずに棄却…。無実の人が自由を奪われたまま、人生をすり減らし、命を落としています。いま、国会で再審制度を見直す法律の改正案が議員立法で審議入りしようとしています。後押しするのは、私たち市民の声です。あなたの参加が社会を変えるチカラです。

◇ 死刑囚を救った裁判官 ◇

記念講演
村山浩昭さん
弁護士・元裁判官



◇ 再審の壁に挑む弁護士 ◇

報告
鴨志田祐美さん
弁護士



撮り下ろしムービー上映
せやろがいおじさん



◇ 冤罪に光を当てた映画監督 ◇

報告
周防正行さん
映画監督



日時 2025 参加無料
5 / 26 月
午後6時30分開会
午後6時開場

会場 文京シビックセンター
小ホール

連帯挨拶 犯罪被害者
片山 徒有 さん
IPJ学生ボランティア
佐藤 和 さん
えん罪被害者のための再審法改正を
実現する議員連盟 他

ネット
配信は
こちら



再審法改正をめざす市民の会結成6周年
白鳥決定から50周年——市民の集い

主催 再審法改正をめざす市民の会

主な登壇者

記念講演 村山浩昭さん 元裁判官・弁護士

再審制度はなぜ必要か ——白鳥決定から50年

2014年、静岡地裁裁判長の時、袴田巖さんの再審請求を認め、再審開始決定を出した。また、「これ以上の身柄拘束は著しく正義に反する」として、袴田さんを監獄から解放し、姉の秀子さんのもとに返した。

報告 鴨志田祐美さん 弁護士

再審法改正の現在地

鹿児島・大崎事件の再審無罪と再審法改正の実現をライフワークとする。日弁連再審法改正推進室長として、国会議員への働きかけや講演、マスコミへの発信など多彩に活動している。

報告 周防正行さん 映画監督

なぜ議員立法での改正か？ ——法制審議会の経験から——

映画「それでもボクはやってない」で日本の刑事司法のおかしさを描いて以来、現実の司法制度に警鐘を鳴らしつづける。法制審議会「新時代の刑事司法制度特別部会」の委員を務めた。

冤罪当事者の訴え

袴田秀子さん

半世紀以上にわたり、袴田巖さんを支え続けてきた姉。「巖だけ助けられればよいとは思っていない」と、巖さん無罪確定後も各地の冤罪、再審を訴える人達を励まし続けている。

前川彰司さん

1986年、福井市でおきた女子中学生殺害事件で、暴力団関係者と警察による偽証でっち上げて犯人とされる。今年3月6日、再審が開始され、即結審。7月18日無罪判決が言い渡される予定。

再審法をどう変えるべき？

1 再審のため 全ての証拠を開示

検察が隠す無実の証拠を開示させたことが、多くの事件で再審開始の決め手になりました。証拠開示の義務付けが必要です。

2 検察による 不服申立てを禁止

再審開始決定に検察官が不服を申し立てることで、救済が遅れたり取り消されてしまい、誤判救済が機能していません。

3 公正な再審へ 法的手続きの整備

再審請求の審理にルールがなく、形式的な手続きで棄却する例が横行。実質的な審理を担わせる手続き整備が必要です。

会場アクセス

文京シビックセンター小ホール

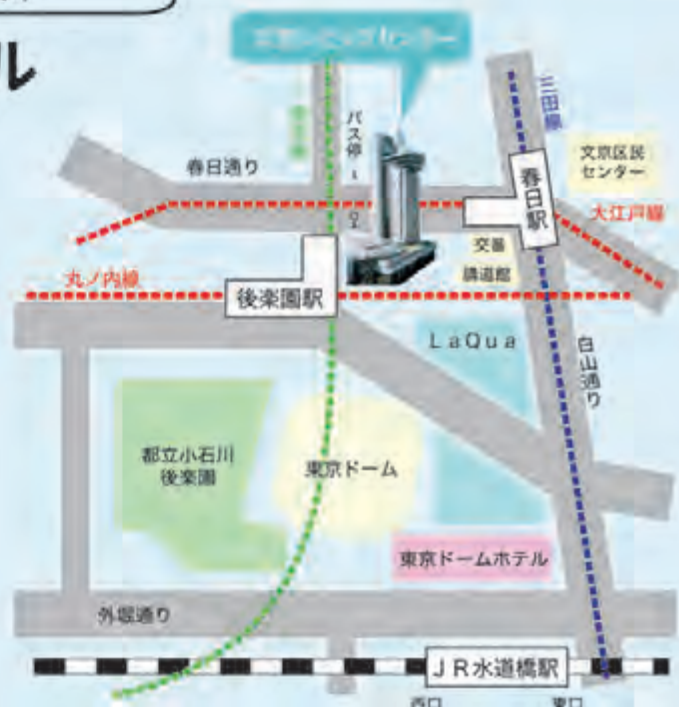
〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21
電話:03-3812-7111

- ・東京メトロ後楽園駅
丸ノ内線(4a・5番出口) 南北線(5番出口) 徒歩1分
- ・都営地下鉄春日駅
- ・三田線・大江戸線(文京シビックセンター連絡口) 徒歩1分
- ・JR総武線水道橋駅(東口) 徒歩9分
- ・都営バス春日駅前(文京シビックセンター前) 徒歩1分
- ・Bぐる(文京区コミュニティバス)
文京シビックセンター(春日駅前) 徒歩1分

2025 **参加無料**

日時 **5 / 26** 月
午後6時30分開会
午後6時開場

ネット
配信は
こちら



RAIN 再審法改正をめざす市民の会

誤判に苦しむ人を救済するため、冤罪犠牲者と支援者、市民、弁護士、研究者、ジャーナリストなどで2019年5月に結成した市民団体。刑事訴訟法の再審規定の改正を求めて活動。

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-4-4
平和と労働センター5階 日本国民救援会気付
TEL&FAX: 03-4500-1414
e-mail: info@rain-saishin.org
www.rain-saishin.org